

松本赤十字乳児院

城東

● 城東地区 ●
1953 世帯
男 1762 人
女 1907 人
合計 3669 人
R 1.7.1 現在

これまで岡田松岡にあった乳児院が、城東公民館東隣に延べ面積855平米の広々とした明るい二階建て施設として新築移転し、本年4月16日から日々元気な子供たちの声が響いています。平林薫院長にお聞きしました。



みんなで仲良くいただきます～す

◎ 乳児院とは？

様々な事情により家庭で育てることが出来ない就学前までの子供たちを専門のスタッフが昼夜お世話しています。そして、家庭的環境で育てる為に、小規模グループケアのユニット化を整えています。

◎ 子育て支援事業とは？

保護者の方の出産或いは病気や仕事等でお子さんの養育が一時的に困難になった場合や、育児不安、育児疲れ等による精神負担の軽減が必要となる時に保護者に代わって養育するいわゆるシヨートステイ(最大7泊8日)を行っています。



小規模グループでテレビ鑑賞

また、専門性を活かして関係機関と連携を図りながら各種の子育て支援事業を行っています。

また育児に関する不安や悩み等を近くに相談できる人がいない場合、来院されるか電話で専門スタッフや心理士に

育児相談 (育児相談専用電話 0263・34・2151) ができます。

地域の子育て世代の交流の場として活用できる、わくポケ親子広場(年10回前後)を開催し、絵本の読み聞かせや調理実習を行っています。そして参加者の皆さん同士の日頃の思いや悩みを語り合い一人でも悩まず、頑張らず、子育てを楽しむヒントを皆で見つける子育て講座(年数回)があります。

あ～した天気にしておくれ♪



◎ 里親支援事業とは？

様々な事情で、自分の家族と一緒に暮らせないお子さんを家族の一員として迎え入れ、温かい愛情と正しい理解で、その成長をサポートする人を「里親」といいます。

乳児院では里親制度に関心を持っていただく為の広報活動を行い、新しく里親になっ

ていただける方を探しています。また里親となるための研修を行い、お子さんをお預けしてからも家庭訪問などにより様々な相談をお受けしています。(里親支援専用電話 0263・31・5206)

最後に院長は「地域のすべての子どもの幸せのため頑張ります。ご支援よろしくお願います。」と話されました。(征矢野)

文園町地域防災活動としての助け合いマップについて

最近、防災意識が高まってきているものの、いざ災害が発生した際に町会として避難や救助などを行うことができず、前情報として、助け合いマップを作り直してみてもどうか町会のみなさんと話し合ってみました。

「文園町町会防災部長兼公民館長として、今後の展開予定」

①有事の際、一次避難所で安否確認でき、かつ助け合い(支え合い)が組ごとにできるように『町会内の安否確認兼助け合いリスト』を作成する。

・町内で強制するものではなく、有事の際に安否確認やお互いに助け合い、支え合うことを目的としたリストであり、賛同いただけない方の分を除いたリストにする。

・同じ町内で町会に加盟していない方(アパート等)も、希望により記名可能とする。

・地域でお互いに助け合うため、組ごとのリストを作成。町会全体は町会長と民生委員・防災部長のみの保管とし、組ごとのリストを組長へ配布。リストへの記載内容としては、委員会で決定する。

★進め方

- ・リスト作成にあたり、町会内で説明会や回覧等で趣旨説明を行い、委員会を立ち上げる。
- ・リスト記載内容決定後、各戸に安否確認・助け合い用紙を配布し、必要事項を記載してもらう。
- ・記入用紙回収後、組ごとにリスト化。
- ・組単位でリストを配布し、町会長・民生委員・防災部長で全体を保管。
- ・毎年、又は2年ごとにリストを更新。
- ②町会内での交流を目的とし、7月に『ブルーベリー狩り&バーベキュー』を開催する。

「社会福祉協議会との確認内容」

被災地域で「助け合いマップ」を作っていたため、避難・救助に役立ったといった前例はあるのでしょうか。

2014年に起きた白馬の地震ではマップを作成してあり、役立ったそうです。被災後、経験を踏まえて更にマップの見直しを行ったようです。

機密情報保持の関係もあり、マップの保管・活用方法についてアドバイスをいただきたい。

個人情報の保護については、個人名の入った書類や名簿など全体のは町会長さんや責任を持った人に保管していただき、支援者は自分の被支援者のみの情報を持つなどが良いかと思えます。また、マップに落としこむ際には、個人名は記入せずに印や色を分けて把握できるようにするなどの方法を取るなどしたら良いのではないかと思います。

被災状況で助け合いマップと異なることが考えられる。助け合いマップ以外に災害時を想定した有用な情報

などあるのでしょうか。

助け合いマップに取り組むに当たっては、日頃からの見守り体制や交流も大切になってくると思っています。

マップを作っても、上手く機能するか分からない。個人情報の管理や活用方法についても考えよう

高齢者の一人暮らしが多く、助け合いマップはありがたい。

年寄りのひとりとは、逆に危ないよ。機密保持をどうするかが課題ですね。

意見を聞く場を作り、委員会を立ち上げ、まとめていこうよ。



日頃から顔の見える関係を築くことも必要ですし、被支援者（高齢者等のサロンなど）が集まる場などで、しっかりと説明をすることも大切だと思います。

支援者、被支援者を把握するため、「支え合いカード」の松本市社協版を検討していきますので、今後お示しできればと思います。との社会福祉協議会の見解でした。

(佐藤)

城東公民館 活動サークル紹介 松本社交ダンス協会

このサークルは社交ダンスを通じておどりのレベルアップも勿論ですが体力作り、仲間作りを目的に昭和36年に設立され56年間の長きに渡り活動を続け現在に至っています。発足当初は会場に入れないというのですが、現在では女性22名、男性13名合計35名となっています。最近は入会者が少なく特に男性の方の入会が激減していることが悩みとなっています。



練習の風景

古参の方のお話を聞くとメンバー内で当時の先生が仲間となり結婚された方も数組いたとのことですが、現在ではメンバーの高齢化が進んでおりこのようなお話を聞かなくなっています。

設立当初は神道会館、その後Mウイングへと練習会場を変えし平成17年からは城東公民館大会議室において月曜日夜7時15分から初心者を対象に中村先生のご指導を受け、火曜日夜7時半からは倉科先生に経験がある方を対象にご指導を受け毎週2日間の活動を行っています。大雪、台風など大きな天候不良時以外は休みなく練習を行っています。毎週2回の城東公民館での練習の他、5月に行われるMウイングでの発表会への参加及び9月に行われる城東公民館文化祭には平成17年より14回連続参加しています。発表する日が近くなると踊るパートナーを固定し、発表会にむけて一段と熱が入った練習になります。また、老人施設等から依頼があればボランティアとして施設を訪問し踊りの披露をしています。他にも、新年ダンスパーティー、夏には暑気払い、そして一泊のレクリエーション等を行います。対外的には年2回のダンスパーティーを主催し、松本市総合体育館サブアリーナで行っています。会員の中には少数ですが、

個人で競技会に出場されるレベルアップに努力されている方も見えます。そして、松本市体育協会が主催する「スポーツ教室 社交ダンス」を担当し社交ダンス振興にも協力しています。若い頃踊った経験のある方もう一度やってみませんか。やってみたかったがチャンスがなくてできなかった方がおられましたら是非ご連絡ください。頭の体操（ほけ防止）体力の維持、向上間違いありません。素敵なお友達と一緒に踊りましょう。優しい先生が親切にご指導させていただきます。お待ちしております。



城東公民館文化祭での発表後の皆さんです

(金子)